



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 大
 コード番号 3758 URL <http://www.aeria.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 祐介
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部長 (氏名)清水 明 TEL 03-3587-9574
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	4,349	△23.9	△584	—	△645	—	△795	—
23年12月期第3四半期	5,715	22.9	120	—	18	—	△302	—
(注) 包括利益	24年12月期第3四半期		△789百万円(—%)		23年12月期第3四半期		△268百万円(—%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△15,452 27	— —
23年12月期第3四半期	△5,304 59	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	5,747	4,038	57.2
23年12月期	7,007	5,664	69.1

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 3,287百万円 23年12月期 4,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0 00	—	2,200 00	2,200 00
24年12月期	—	0 00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	△24.4	△920	—	△970	—	△1,170	—	△22,716 68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他(詳細は【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。)

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()

除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

適用

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	67,992株	23年12月期	67,992株
-----------	---------	---------	---------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	18,017株	23年12月期	10,796株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	51,504株	23年12月期3Q	57,106株
-----------	---------	-----------	---------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

※ 当社では、個人投資家向けの皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景とした企業活動や個人消費等の回復に足踏み感がみられ、欧州における債務危機や金融資本市場の変動が我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属するオンラインゲーム関連市場は、従来のPCオンラインゲームに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及による利用者数の拡大を背景に、引き続き順調に成長を続けております。これに伴って、Android/iOSをはじめとするプラットフォームの多様化が進み、各社の提供コンテンツやアプリケーションサービスはますます複雑化・高度化する傾向にあるなど、企業間におけるユーザー獲得競争は今後も激化するものと予測されます。

このような環境のなか、当社グループは国内及び海外におけるオンラインゲームの配信・運営事業を強化し、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスを提供してまいりました。

平成24年9月の累計登録会員数は3,700万人を突破し、順調に事業規模を拡大しております。

また、スマートフォンを含むモバイルコンテンツの開発分野にも注力し、各ライセンサーと協力を深めながら、多様化する顧客ニーズに合ったサービスの提供に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,349,612千円(前年同期比23.9%減少)、営業損失584,745千円(前年同期は営業利益120,191千円)、経常損失645,504千円(前年同期は経常利益18,108千円)、四半期純損失795,854千円(前年同期は四半期純損失302,923千円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。変更の内容については、「4 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報等」の「3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。このため、前年同期比較においては、前年度実績を変更後の区分に組み替えております。

(オンラインゲーム事業)

オンラインゲーム事業につきましては、当社及び連結子会社でありますAeria Games & Entertainment, Inc.を中心に国内・海外でオンラインゲームの配信を行っており、平成24年9月には累計登録会員数が3,700万人を突破するなど、順調な成長を続けております。

但し、広告宣伝費等の積極的な先行投資により費用が増加し営業損失となっております。

以上の結果、売上高は3,642,650千円(前年同期比2.5%減少)、営業損失は614,880千円(前年同期は営業損失40,351千円)となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴いデータサービス事業を行う株式会社エアネット並びにネットワークエンジニアの派遣を行う株式会社スリーエスは共に安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は812,483千円(前年同期比11.1%減少)、営業利益は57,482千円(前年同期比5.3%増加)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、売上高7,307千円(前年同期比83.4%減少)、営業損失24,062千円(前年同期は営業利益18,231千円)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間において、株式会社アエリアエステートが所有する固定資産を譲渡したことにより83,695千円の特別利益を計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,747,590千円で、前連結会計年度末に比べ1,260,342千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ522,004千円減少し、3,556,775千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ738,337千円減少し、2,190,815千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ1,065千円増加し、1,208,804千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ365,385千円増加し、500,659千円となりました。

純資産につきましては、自己株式の買付等に伴い、1,626,793千円減少し、4,038,127千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成24年2月14日に公表しました業績予想を修正しました。

詳細については、平成24年11月13日公表の「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474,608	2,446,620
受取手形及び売掛金	484,729	385,215
商品	792	1,251
仕掛品	143	—
短期貸付金	614,000	614,000
未収還付法人税等	385,561	15,817
繰延税金資産	4,071	1,141
その他	121,106	94,787
貸倒引当金	△6,233	△2,057
流動資産合計	4,078,780	3,556,775
固定資産		
有形固定資産	992,208	236,556
無形固定資産	665,688	838,413
投資その他の資産		
投資有価証券	659,235	633,873
関係会社株式	521,635	391,938
長期貸付金	773,839	781,158
繰延税金資産	7,132	7,158
その他	117,600	114,645
貸倒引当金	△808,187	△812,928
投資その他の資産合計	1,271,256	1,115,845
固定資産合計	2,929,153	2,190,815
資産合計	7,007,933	5,747,590
負債の部		
流動負債		
買掛金	203,127	150,792
短期借入金	144,647	—
1年内返済予定の長期借入金	6,492	6,492
未払費用	333,812	483,157
未払法人税等	72,255	25,321
賞与引当金	1,500	2,700
その他	445,904	540,340
流動負債合計	1,207,738	1,208,804
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	388,050
長期借入金	42,819	37,950
繰延税金負債	23,543	28,032
退職給付引当金	12,115	10,600
負ののれん	265	—
資産除去債務	8,831	8,947
その他	47,698	27,078
固定負債合計	135,273	500,659
負債合計	1,343,012	1,709,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	236,772	236,772
資本剰余金	6,598,336	6,472,505
利益剰余金	△947,386	△1,743,240
自己株式	△1,035,442	△1,673,384
株主資本合計	4,852,279	3,292,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,291	48,422
為替換算調整勘定	△55,849	△53,900
その他の包括利益累計額合計	△7,558	△5,477
新株予約権	75,100	1,748
少数株主持分	745,099	749,203
純資産合計	5,664,920	4,038,127
負債純資産合計	7,007,933	5,747,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,715,886	4,349,612
売上原価	3,481,464	3,193,685
売上総利益	2,234,421	1,155,927
販売費及び一般管理費	2,114,230	1,740,673
営業利益又は営業損失(△)	120,191	△584,745
営業外収益		
受取利息	15,834	7,629
受取配当金	1,439	3,489
負ののれん償却額	27,060	265
受取補償金	9,893	17,587
その他	28,397	8,086
営業外収益合計	82,625	37,058
営業外費用		
支払利息	6,409	28,441
為替差損	81,679	13,459
持分法による投資損失	93,997	45,813
その他	2,623	10,101
営業外費用合計	184,708	97,817
経常利益又は経常損失(△)	18,108	△645,504
特別利益		
固定資産売却益	—	83,695
投資有価証券売却益	—	33,674
関係会社株式売却益	—	36,737
新株予約権戻入益	—	75,100
持分変動利益	5,226	37,288
特別利益合計	5,226	266,496
特別損失		
固定資産除却損	12,882	955
減損損失	223,326	365,871
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,207	—
その他	744	14,233
特別損失合計	243,162	381,059
税金等調整前四半期純損失(△)	△219,827	△760,068
法人税、住民税及び事業税	34,615	28,776
法人税等調整額	△3,838	2,904
法人税等合計	30,777	31,681
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250,604	△791,749
少数株主利益	52,319	4,104
四半期純損失(△)	△302,923	△795,854

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250,604	△791,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,667	8,107
為替換算調整勘定	3,127	1,949
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,051	△7,975
その他の包括利益合計	△17,591	2,081
四半期包括利益	△268,196	△789,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△319,141	△793,772
少数株主に係る四半期包括利益	50,945	4,104

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン ゲーム (千円)	I Tサービス (千円)	その他 (千円)			
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,719,631	836,848	44,046	4,600,526	1,115,359	5,715,886
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	16,483	77,829	—	94,313	△94,313	—
計	3,736,115	914,678	44,046	4,694,839	1,021,046	5,715,886
セグメント利益又は損失(△)	△40,351	54,576	18,231	32,456	87,734	120,191

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額及び前連結会計年度にて計上していたゲーム開発事業のセグメント利益117,642千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、84,174千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント(注3)			合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン ゲーム (千円)	ITサービス (千円)	その他 (千円)			
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,612,915	729,390	7,307	4,349,612	—	4,349,612
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	29,734	83,093	—	112,828	△112,828	—
計	3,642,650	812,483	7,307	4,462,441	△112,828	4,349,612
セグメント利益又は損失(△)	△614,880	57,482	△24,062	△581,461	△3,283	△584,745

- (注) 1. セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 3. 前連結会計年度にてゲーム開発事業を行っていた株式会社アクワイアの全保有株式を譲渡し、またオプティモグラフィコ株式会社が清算したことに伴い、連結の範囲から除外しております。これによりゲーム開発事業セグメントを廃止しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社アエリアエステートの保有する不動産を売却したことに伴い、前連結会計年度末に比べ「その他」セグメントの資産が807,451千円減少しております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より第1四半期連結会計期間にアエリアエステートの事業運営上重要な資産を売却したことによりその重要性が低くなった為、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「不動産賃貸事業」から「その他事業」に変更しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、365,871千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、Aeria Games & Entertainment, Inc. の普通株式を取得したことによりのれんを認識しております。なお当該事象によるのれんの増加額は、39,729千円となっております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成23年12月2日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。

この自己株式の取得により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,673,384千円となりました。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

(自己株式の取得枠の拡大及び取得期間の延長)

当社は、平成24年10月26日開催の取締役会において、平成24年6月15日開催の取締役会において決議された自己株式の取得に関し、自己株式の取得枠の拡大及び取得期間の延長を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主価値の向上を図るとともに、機動的な資本政策の遂行を可能とするために行うものであります。

2. 取得枠拡大及び取得期間延長の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 2,000株(1,000株増加)
(発行済株式総数に対する割合 2.94%) |
| (3) 株式の取得価格の総額 | 1億8,000万円(9,000万円増加) |
| (4) 取得期間 | 平成24年6月18日～平成25年6月17日 |